

大京都の都市建設に就いて

高 田 景

吾が京都市が市域を擴大して、大京都建設のスタートを切つてから、今や將に第二年度の春を迎えたのである。昭和六年は沈思靜觀の年であり、調査計畫の年であつた。昭和七年は將に實行の年であり、建設への躍進の年である。

本市都市計畫のあゆみの跡を尋ね、本年及將來に對する計畫の一端を述べることは、敢て徒事ではないであらう。

先づ道路に就いて述べんに、道路が都市發達上の基礎的施設であり、吾々の生活に最も緊密なる關係にあることは、茲に纒説する要もなく、一般に都市計畫とは道路の新築、擴張をなす仕事である如く考へられてゐる程、その重要性を有するのである。

本市に於て都市計畫事業として先づ決定を見たのは、十

五幹線道路の新設擴張事業であつて、大正十二年烏丸延長線の竣工以來既に、第一期及第二期工事を了し十五線中その完成を見たるは第五、第七、第八、第九、第十一、第十三、及び第十五號線にして、第一、第四、第十二、第十四號線は各々その一部を竣工し、今や全路線の約六割の工程を了えたのである。殘餘路線の執行年度は財政上の都合で昭和十年年度まで延期されたが、未だ豫算議決に至らざる第二、第六、第十、第十四號線を除いては全部本年度に實施したいと思つてゐる。

尙幹線道路に順應する所の街路網の計畫も昭和二年二月住宅地域内（幅員二二米乃至一一米、延長六萬七千餘米、工費概算二千二百萬圓）次いで同三年五月工場地域内（幅

員三三米乃至一一米、延長五萬七千米餘、工費概算二千萬元（のもの）が孰れも都市計畫として内閣の認可を得たのであるが、工事の竣工を見たのはその一部分にして之が實現は本年及將來に期せなければならぬ。

京阪國道は本市と經濟の中心地大大阪とをつなぐ交通上の大動脈であるが、七條大宮以南十條通に至る間を本市に於て執行することとなり、昭和六年七月内閣の認可を得て九月より工事に着手するに至つた。幅員二十二米乃至二十七米、東海道線の横斷箇所は大跨線橋を設けなければならぬ大工事であるが、一方大阪、京都兩府に屬する工事も着々進捗し、已に開通を見てゐる箇所もある有様で本市に於ける工事も出来る丈け早く完了する積りである。

一方京津國道の改修も近い中に完成することになつてゐるから、右兩國道完成の曉は遊覽の都京都を中心として、大阪、大津は勿論神戸まで一貫する所の一大ドライブウエイの開通を見ることとなり、坦々たるベープメントを通じて物資の運搬、遊覽客のドライブに利便を齎らすは云ふ迄

もなく、本邦に於ける自動車交通上に一新紀元を劃することとなるだらう。

新編入區域に對する街路網の計畫は、新市街地の開發に規格的標準を與へ、放漫無統制なる市街地の形成を抑止する點から云つても、何を措いても先づ確定せなければならぬ問題であるから、慎重調査研究の結果漸く成案を得て、近く當局に認可申請する運びになつてゐる。

本市に於ける道路の舗裝は、大正十二年新京極通三條四條間の歩道を舗裝したのを初めとするが、近時自動車交通の發達と、一般交通量の増加とは在來の砂利道を以つてしては、到底路面の維持、修繕に耐ふる能はざるのみならず又市民の文化的要求も到底從來の如き不完全な泥路に満足出来なくなつたため、本市にあつても全市の主要道路舗裝の必要を認め、昭和四年より十ヶ年計畫を樹立し着々として之が實現に努めてゐるのである。其結果昨年末に於ける舗裝の普及は約三十萬坪に達し、舊市域の道路面積の二十六%に及び、本年度に於ても既定計畫に基き舊市内に於て

約四萬坪、尙新市域に對しても其最も必要と認めらるゝ幹線道路に對し鋪裝をなす豫定である。かくして舊市内に於けるメイン・ストリートは殆んど鋪裝されることとなる。

十年昔の未だ鋪裝道路の全然なかつた路面凹凸、風吹けば黃塵萬丈、雨降れば泥濘踵を没する當時の惡道路と街路樹の影搖ぐ垣々砥の如きペーブメントの比に想倒したら、誰か當今の道路に對し禮讚の聲を發せないものがあらうか。

廣袤四百二十五萬坪に亘る本市都市計畫土地區劃整理は大正十五年九月内閣の認可を得て以來、都市計畫事業路線の開設竝に軌道延長工事と兩々相俟つて之が實現を期してゐたのであるが、進捗の度はかゝしからず、昨年七月愈々代執行の命令下るに及んで急に活動期に入り、本年は愈々之が實施の本舞臺に進展したのである。

先づ第一に着手するのは、西第一地區(二十三萬八千坪)次いで南第一地區(十八萬八千坪)であつて、引續き東九條下鴨西部、衣笠大將軍方面等の施行命令も下る筈であるから、此の方面の事業も本年中には着手することが出来るで

あらう。西第一地區と南第一地區の中間に跨る西七條組合(四十一萬二千坪)と、西寺組合(三十五萬七千坪)も昨年認可以來着々準備を進めてゐるから、本年夏頃には工事に於ける事とならう。之等各地區の事業が進捗すると新京阪、十二號路線、一號路線、三號路線、京阪國道等の連絡開通が促進せられて、洛西、洛南の交通系統は著しい展開を見る事となる。

又洛北方面では西紫野、東紫野の兩組合が既に工事完了し、舊臘千本北大路——烏丸頭間の市電連絡に成功し、更に府立一中附近の下鴨組合も本春工事に着手すべく、之と鴨川との中間區域は代執行に依て本年事業着手の豫定であるから、北大路線の東への延長と賀茂川架橋工事も愈實施される譯である。又西北部では金閣寺組合が事業着手の準備中で、やがて其南方衣笠地區も代執行を受ける事となるから、北大路線と西大路線とが連絡し、かくて舊市域と新市域とを結ぶ紐帯が次々に出来る上る外廓線を中心として新裝鮮かな區劃整理街の出現によつて完成される譯である。

百萬邊——高野川間の區域と洛東鹿ヶ谷界限の區劃整理も、豫定では昭和七年度となつてゐるが、豫算その他の關係で本年中に着手するはやゝ困難であらう。

西大路線を中心とする西ノ京北部、西ノ京南部、西院北部各組合地區は長い間、靜觀の状態を保つてゐたが、何れも設計變更、地區變更、代執行の腹案等によつて事業好轉に向ひ出したのである。

この外都市計畫土地區劃整理區域外の地區では、農大北側の新設組合、平井高原地區が今春着工の豫定である。洛北の上堀川組合も史蹟御土居の現状變更が許可されたので近く事業着手の豫定である。

整理の完了した賀茂、紫野門前、紫竹芝本、紫竹、東紫野各組合地區には、今春新しい町名地番が付けられて換地處分の終結を告げる事となる。西紫野組合の貢獻による船岡山公園も、陽春花見の頃までには愈々計畫から實現へと進むのである。

非常なる勢を以つて急速度に發展しつゝある郊外地をし

て、舊都市の嘗めたる忌むべき苦痛より救ふは、都市施設の根本たる道路網の計畫と、行き詰りを生ぜざる適當の時期に於て、土地開發に先行する土地區劃整理事業は都市將來の發展と共に、益普及發達するであらう事は想像に難くない。今や關係法規の改正に百尺竿頭一步を進めて、區劃整理法制定の機運まで動いてをり、更に客年區劃整理協會全國聯合會の設立をも見るに至り、官民協力して斯業の發達を圖らんとしてをる時機に際會し、本市域の廣袤は益區劃整理區域の擴張を促してゐる。幸に代執行の先鞭をつけ他都市に其範を示さんとするのであるから、吾等當局者の責任も亦重いと云はなければならぬ。一方組合施行に對しては地區内の都市計畫街路新設のため工事費の一部を市より補給して事業の進展を圖る道も開かれたので、今後に於ける本市區劃整理事業の發展は刮目に値するであらう。

京都が三面翠巒を以つて圍繞せられ、鴨、桂の清流その懷を南流し、古來山紫水明の地として謳はれ、而かも千年の古き歴史を背景としたる名勝、舊蹟その間に散在し、遊覽

都市として、はた又、美術、工藝、宗教の都市として、その固有の風致と文化とを以つて、海の内外に誇りつゝあることは、今更茲に贅言を要しない所である。

本市は既に二千四百萬坪に亘る風致地區の指定を見、廣告取締規則の施行せらるゝにをよび、尙這般の市域擴張によつて、山には比叡、愛宕、嵐山、三尾の秀峯、河には宇治、桂等の清流を加へ、幾層倍の自然美と地方色とを増し愈々遊覽都市としての條件と資格を具備するに至つたのである。茲に於て全市域に亘る完全なる公園系統を樹立し、本市をして眞に理想的の遊覽都市として優に世界觀光の中心地となさなければならぬ。

本市は曩に 聖上陛下の御成婚記念事業として、市民保健のため西京極桂川の沿岸四萬坪の土地を相し、運動場建設に着手したのであるが、目下第一期事業として觀衆三萬人を收容する野球場、テニスコート及び兒童遊園等を築造中であるが、本年の野球シーズン前には之が完成を見るであらう。尙第二期事業としては工費百五十萬圓を投じて、

野球場内外スタンドの擴張(收容人員七萬人)陸上競技場、プール、その他全般的の施設を計畫してゐるのであるが、之が完成の時は綜合的運動公園として、關西方面に於ける野球、ラグビーの大試合は勿論、極東オリンピック大會の會場としても好適の場所となるであらう。

船岡山公園計畫は、都市計畫事業として實施することとなり、目下内務省に認可申請中であるから今春早々には工事に着手することが出来るであらう。山内を巡る逍遙道路、展望臺、廣場、遊戯場、音樂堂等の設備、花木の植栽等、二萬二千餘坪の近隣自然公園として、はた又兒童遊園として大いに市民の積極的利用が期待されるわけである。

都市住民の保健衛生上、下水道施設の緊急なることは今更贅言を要せざる所である。本市に於ても夙にその必要を認め、慎重調査研究を進めてきたのであるが、都市計畫事業としてその緒に就いたのは昭和五年八月にして、已に第一期事業を了へて昨秋よりは第二期工事に着手し、急を要する排水區五を選び、外に第三排水區を處理區とする下水

處分場を吉祥院に築造することゝなつたのである。

該處分場は斯界に於て最も進歩せる方法として、絶對的權威を有する所の促進汚泥法を採用するのであつて、該計畫完成の曉は、同區域内の家庭下水や工場廢水は勿論、各戸の尿尿も直ちに下水道に放流し得ることゝなるから、在來市民各自が負擔せる尿尿の汲取費や溝浚費の如きは全く不要に歸し、又ビルディング等のなしつゝある淨化裝置も無用となり、市民の保健衛生上の利益は云ふ迄もなく、經濟上にも直接利益を齎らすものと確信するのである。

本市大下水道計畫の完成の爲には莫大の費用を必要とするのであるが、第二期下水道事業完了の後には愈々本市大下水道計畫實現の爲め、より大規模なる財政計畫を樹立する考へである。

堀川は京都市の主要なる排水路であるが、都市計畫事業第三號路線交叉點より下流は、幅員狭小且縦斷勾配不規則にして降雨時に於ける汎濫甚だしく、本市南方の發展を阻害すること多大で衛生上の見地よりしても一日も忽に出來

ないから、三號路線の交點より南下して奈良電に沿ひ鴨川に至る部分の改修工事を、都市計畫事業として實施することゝなり、目下認可申請中であるから今春早々には工事に着手することが出来るだらう。

この外大京都の建設のためには、三川改修計畫を初め、新運河の開鑿、鐵道高架の問題、高速度交通網の計畫、エアーポートの建設等々、數へあぐれば十指尚ほ足らず、要するに大京都存立の精神を基礎とし、本市の實情に適應する最も合理的統一的施設計畫を樹立して、新市街の開發に適確なる基調を與へ、既成市街地に對しては整理改善の辦法を運らし、兩々相俟つて都市生活に伴ふ必然的の害惡を除き、共同の利益に善處して百萬市民の集團である吾等の京都をして、『より住みよき京都』たらしめんとする所に大京都々市計畫の意義があると信ずる。

特に大京都の都市計畫と云ふ大事業に直接關係を有してゐる私としては、其責任の重且大なるを自覺すると同時に銳意雄都の建設に邁進せんことを切に感ずる次第である。